

第6回 地域の公共サービスを経営する

和合館工学舎 学舎長 今西肇

1. 公共とは

私たちの日常では、そこで生活する人が個人や企業として解決できない分野があります。それを「公共」と呼んでいます。その公共の中心に位置するハード的なサービスが社会基盤、いわゆるインフラストラクチャーです。公共の問題解決のために、国や地方自治体があり、住民は問題解決をお願いして、その中で生活しています。平たく言えば、割り勘で公共サービスを受けています。

国や自治体の行政活動は、その公共サービス（公共財、準公共財）の供給であり、国防、治安、司法を基本としてあらゆる分野において、そこに住む人たちの一生に関わっています。

2. 公共サービスの形態の変化

私たちが生活する場には、各種民間サービスを購入することで支えられ、市場メカニズムが働く私的サービスがあります。一方、初等教育、治安、道路、環境保護、防災など、国や自治体の関与なくしては成り立たない公共サービスもあり、その意思決定は政治にゆだねられています。

しかし、我が国の人口が減少していくなか、厳しい財政制約の下において、経済成長や安全安心の確保、国民生活の質の向上を持続的に実現するしなければなりません。

さらに、その私的な領域と公的な領域を明確に分けることが難しくなっています。特に、社会基盤の分野では相互のかかわりが緊密化しているのも事実です。

公共サービスも従来のような国や自治体にゆだねる方法だけではなく、その一部を民間が肩代わりすることも現実になりつつあります。それが PPP/PFI です。



宮城県仙塩工業用水道 大槌浄水場

3. PPP/PFI のすすめ

PPP (Public Private Partnership) は、官と民が連携・協力しながら公共サービスを効率的かつ効果的に提供する事業手法のことを言います。その主要な手法として PFI (Private Finance Initiative) 方式、指定管理者制度、包括的民間委託等があります。わが国では 1999 年 7 月に「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」が制定されました。最近よく聞くコンセッション方式とは、PFI 方式の一つであり、民間事業者が施設の所有権は移転せずに、インフラの事業運営に関する権利（事業権）を長期にわたって付与する事業の方式で、東北地方では、仙台空港特定運営事業に引き続き宮城県の上工下水一体官民連携運営事業（みやぎ型管理運営方式）に採用される予定です。

これらは、社会資本のストック効果の最大化を促進し、安全・安心効果や、生活の質の向上効果、生産性向上効果といった社会基盤の生産性を高める効果があります。

いま、地域の公共サービスの一部を民間が担う時代が始まっています。公共の問題は、行政が解決するという考えを転換して、地域の民間と協力して解決する時代が来ています。

和合館工学舎は、地域のまちづくり会社としての建設会社の持続可能な活動を支援いたします。